BRP Can-Am SPY

が買収。現在はボンバルディアとは独立したメーカーとして歩み続けている。生産拠点をカナダ本国の他、アメリカ、メキシコ、フィンランド、オーストラリアの5カ国に展開し、世界80カ国以上で製品を販売するグローバル企業だ。

スノーモビルの「スキードゥー」、水上バイクの「シードゥー」の他、ATVや今回紹介する3輪ロードスターの「カンナム」など広範なブランドを持ち、エンジン専業ブランドとしてバイクファンにおなじみのロータックスも、現在は同社の一部門となっている。

これまで日本では、スノーモビルや水上バイクなどのレジャービークルを中心に展開してきた同社だが、満を持して、カンナムブランドの3輪ロードスター『スパイダー』の日本導入を果たすことになった。それも冷却システムの強化など、日本への最適化を行っての本格導入だ。

同社では、販売店のサービスレベルにも神経を注いでいる。日本での取扱店では各店1名以上がオーストラリアにある同社トレーニングセンターでの研修が義務づけられており、同社製品ならではの構造や整備ノウハウに熟達できる。さらにそれを自らのショップで水平展開することで、どのショップでも安心してサービスを受けることができるのだ。

BRPは製品とサービスの両面で高い信頼性を追求しているブランドだと言えるだろう

Specifications
■全長2667　全幅 1572　全高1510　軸距1435　シート高772(各mm)乾燥重量459kg■空冷4ストロック直列3気筒　1330cc　最高出力115HP/7250rpm　最大トルク13.2kg/5000rpm　変速機6段後退ギア付き　燃料タンク容量26ℓ■ブレーキ形式F=ディスク　R=ディスク　タイヤサイズF=165/55-R15　R=225/50-R15
■価格2,770,000円(税抜)

操作系には、このマシンを操るためのヒントに満ちている。左スイッチボックスにミッション操作を中心に、灯火類やスクリーン昇降など多彩な機能が集中する一方、右側にはキルスイッチの他、クルーズコントロールやハザードスイッチなど、相対的に使用頻度の低いスイッチが集められ、スロットル操作に集中してほしいという意図が感じられる。

り幅広いトレッドを持つが、キャンバー角がゼロであるなど、ハンドリングに関わるセッティングは、通常の自動車ではありえないアグレッシブなものとなっている。立ちゴケの心配などがない代わり、直進時の車体保持や、コーナリング時のコントロールにも、独特の操作が要求されるのだ。

スイングしない車体構成は、ヨー運動がゼロであることを意味しない。大きくはないが、自動車のようなロールが発生した後、一呼吸置いてググッと舵が効いてくるという印象だ。しかしそれは受け身のライディングを行っていての話。一連の挙動がつかめてしまえば、あらかじめイン側のヒザで車体をホールドし、身体を車体イン側に巻き込みつつ左手中心で操舵を、右手でスロットルワークを行う積極的なライディングが可能になる。バイクとはまったく違う質の「操る」充実感を味わうことができるのだ。

その未知なる魅力に迫る

外のスーパースポーツモデルを取り扱い、鈴鹿8耐や全日本ロードレース選手権参戦など走りにこだわるショップ。その青柳代表が触れたスパイダーの印象はどんなものだったのだろうか。

「第一印象は『なんだこりゃ！』でしたよ。バイクのつもりで走らせると曲がらないし、どこへ行くか分からない。初試乗では最初の交差点で、そのままま曲がってしまったくらいです(笑)。そこで頭を切り換えることにしました。これはバイクでもサイドカーでもトライクでもない、別の乗り物なんだってね」

バイクと違うからと否定するのでなく、乗りこなしへのチャレンジに素早く切り替えるのはさすがの青柳流だ。

「実車が日本にやって来て、たっぷり時間をとって走らせてみることができました。その結論というわけではありませんが、今感じているのは『イン・ニー』での車体ホールドがコーナリングの要だということです。バイクの経験が長いほど、コーナーでアウト側のステップに荷重してしまいがちですが、スパイダーでは体を巻き込むようにしてイン側のヒザで強くボディをホールドするんです。それによってアウト側への遠心力に対抗してライダーの姿勢が安定するので、上半身が自由になって、それまでのギクシャク感が嘘のように、スパイダーを操ることができるようになります。これは既存のトライクとはまったく違う操縦体験です。ライダーの皆さんにも、ぜひ頭を白紙にして挑戦してほしいですね。攻略し甲斐のある、新しい乗り物として楽しんでもらえると思いますよ」

バイクの楽しさを深く知る青柳代表の言葉だけに、その「新体験」というフレーズは深い。

腕自慢のライダーにこそ挑戦して欲しい。その違和感が快感に変わるまで。それがスパイダーという新体験なのだ。

協力:モトコミュニティ LIRICA　〒244-0844　神奈川県横浜市栄区田谷町639-5　TEL 045-852-1220　URL http://www.lirica.co.jp/